

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	地盤調査計画指針改定検討小委員会	主査名：関口 徹 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主査名：田村修次)
設置期間	2023 年 4 月 ～ 2027 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2009 年刊行の「建築基礎設計のための地盤調査計画指針」改定のため、課題の抽出および最新の知見の取りまとめを行い、改定のための小委員会に引き継ぐ。</p> <p>初年度：改定方針検討のための現行版の課題抽出 2 年度：改定のための方針の作成，WG 発足準備 3 年度：改定のための資料収集と分析，とりまとめ，改定指針の目次作成 4 年度：指針改定原稿執筆準備</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：関口 徹 (千葉大学) 幹事：久世直哉 (ベターリビング)，下村修一 (日本大学) 委員：伊藤利治 (都市再生機構)，金子 治 (広島工業大学)， 鈴木比呂子 (千葉工業大学)，鈴木康嗣 (鹿島建設)，永井 宏 (室蘭工業大学)， 諸伏 勲 (三菱地所設計)，安 浩輝 (東京ソイルリサーチ)，	
設置 WG (WG 名：目的)	—	
2023 年度予算	570,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 現行 2009 年度版刊行以降の新たな課題として「支持層不陸と調査数量」, 「既存杭・構造物」などが挙げられそれらについて議論した。(達成度 100%)
委員会活動の問題点・課題	1. 抽出された新たな課題に対してどのように次の指針に反映するか。 2. それらに対応した設計例などを新しい指針に追加する。